

# 議会だより

No 187

令和8年  
4月30日発行



中野幼稚園入園式

## 令和8年 3月定例会

令和8年度 予算可決（一般会計・各特別会計）

■ 可決された議案	4～5
■ 提出議案と議員の賛否	6
■ 一般質問	7～15
■ 町議会ってななに？	16

### 一般質問 9人の議員が町の考えを問う

- ・ 新村 貴紀議員    ・ 神山 均議員    ・ 松村 潤議員
- ・ 蟹和 孝一議員    ・ 三ツ村由紀議員    ・ 山本 裕子議員
- ・ 原 義裕議員    ・ 佐藤 富代議員    ・ 武井 清二議員

YouTubeにて邑楽町議会  
チャンネルを開設しています  
本会議の様子をご覧いただけます



# 令和8年度一般会計予算

110億9千万円の予算を可決  
対前年度比5.8%減

令和8年第1回定例会が、3月3日から12日まで開かれました。令和8年度の一般会計予算や各特別会計予算等の議案が提出され、審議の結果原案のとおり可決されました。

3月定例会

幸せあふれる  
住みよいまち  
“おうら”

令和8年度  
注目の事業



令和8年度予算の予算規模は、一般会計で110億9千万円、前年度に比べ6億8千万円、5・8%の減額としました。

歳入での町税収入見込額は、前年度の課税実績等を基に46億8940万7千円で、前年度に比べ8億3051万2千円の増額としました。

国による地方財源の保障制度である地方交付税は、決算額を元に推計し前年度と比べ4億3700万円、26・9%減の11億8600万円を見込みました。

繰入金については、財政調整基金、減債基金、公共施設等整備基金、ふるさと振興基金、森林環境譲与税基金からの繰入を行い、合わせて13億7244万5千円の繰入を計上しました。前年度と比べ84万4千円の増額です。地方消費税交付金、地方特例交付金、県支出金等が増加していますが、地方譲与税、国庫支出金等が減少する中で、財源確保

の観点から、前年度に引き続き財政調整基金繰入金を計上しました。

町債は、令和7年度に町営住宅建設に係る町債の借入があり、その分が減額となったことから、前年度と比べ7億6820万円、77・0%減の2億2950万円です。

次に、歳出の大きく増額されたものとして、民生費では、介護給付・訓練等給付事業に6億5974万1千円、福祉センター整備事業に3185万1千円、子どものための教育・保育給付事業に2億2763万7千円を計上しました。また、商工費では、コハクペイ事業に2億691万3千円、土木費では、鶴土地区画整理事業に2億2873万2千円、教育費では、学校給食事業に2億6850万9千円を計上しました。公債費では、長期債元金に7億5801万8千円、長期債利子に5582万6千円を計上しました。

依然として続く物価高騰への対策や行政サービスのデジタル化など、社会情勢に対応した施策へのニーズは高まっています。一方で物価高騰は、町の財政運営に与える影響も大きくなっており、このような状況の中、国の国債依存度が高い状況は変わらず、地方への財政措置がこれまでのように確保される保証はないと言わざるを得ません。今後も、より一層の効率的な行政運営と住民サービスの向上を目指し、計画的な財政運営を行ってまいります。

令和8年度は、邑楽町第七次総合計画のスタートの年となります。第七次総合計画で掲げている町の将来像「幸せあふれる住みよいまち『おうら』」を目指して、今後も皆さまの声を大切にし、多くの町民、事業者、議会議員、職員、全ての邑楽町に関わる皆さまと夢と希望のあふれるまちづくりを進めてまいります。  
(町長の施政方針抜粋)

令和8年度当初予算額

会計別	本年度当初予算額	前年度当初予算額	対前年度増減率	
一般会計	110億9,000万円	117億7,000万円	5.8%減	
国民健康保険特別会計	25億7,989万円	25億5,633万円	0.9%増	
後期高齢者医療特別会計	5億8,018万円	4億8,050万円	20.7%増	
介護保険特別会計	22億5,747万円	21億7,467万円	3.8%増	
公共下水道事業会計	収益的収入	3億5,388万円	3億8,977万円	9.2%減
	収益的支出	3億2,966万円	3億4,814万円	5.3%減
	資本的収入	1億7,926万円	1億5,740万円	13.9%増
	資本的支出	2億3,706万円	2億1,478万円	10.4%増

## 新年度予算質疑(要旨)

新年度予算についての質疑が行われました。  
以下、抽出した項目の要旨です。

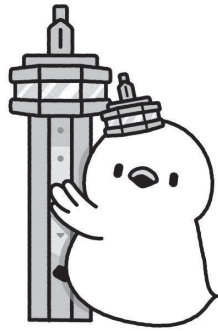
**Q 松村潤議員** 固定資産税の土地・家屋分の税収の積算方法は。

**A 税務課長** 土地分は、地価動向や造成・農地転用等の開発計画を考慮し評価額等を推計。家屋分は、新築や開発による家屋増加や軽減措置の終了による税額増と取壊し等による減少分を併せて推計した。

**Q 神山均議員** 定住促進通学支援金を新規事業で行うに至った経緯や内容は。

**A 企画課長** 若者の東京圏への流出を抑制及び鉄道の利用促進のため、東武鉄道を利用して東京圏の大学等に通学する25歳以下の町民に対して、年間最大2万円までの通学補助を行う。

**Q 武井清二議員** シンボルタワーの今後の活用は、予算にどう反映されているか。  
**A 商工振興課長** シンボルタワー整備検討委員会を設置するため、委員の報酬を予算に計上しているところである。



**Q 瀬山登議員** 鶴土地区画整理事業の物件移転補償費は、調査と実施時期に数年間の開きがある。物価高騰が激しいため、対応策が必要である。

**A 都市計画課長** 国で示した補償基準に基づき、契約時期に再度最新単価に入れ替えて算定している。

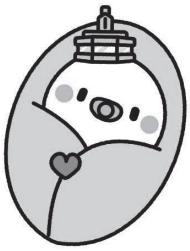
## 可決された議案

**Q 新村貴紀議員** 国庫支出金子ども・子育て支援事業補助金に關し質問する。国民健康保険料の支払いが増えるという認識で良いか。  
**A 住民保険課長** お見込みのとおりで、国民健康保険税は1世帯当たり平均月額約350円増額となる。

### 【専決処分の承認】

令和7年度邑楽町一般会計補正予算(第4号)

閣議決定された総合経済対策において、物価高対応子育て応援手当支給事業を実施するための経費が必要となり、専決処分された補正予算について、承認しました。



令和7年度邑楽町一般会計補正予算(第5号)

閣議決定された総合経済対策において、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するための経費が必要となり、専決処分された補正予算について、承認しました。

令和7年度邑楽町一般会計補正予算(第6号)

第51回衆議院議員総選挙を執行するための経費が必要となり、専決処分された補正予算について、承認しました。

### 【条例改正等】

邑楽町特別職の報酬、費用弁償条例の改正

「国家公務員等の旅費に關する法律の一部を改正する法律」等の施行による「邑楽町職員等の旅費に關する条例」の全部改正等に伴い、条例の一部を改正しました。

邑楽町職員等の旅費に關する条例

「国家公務員等の旅費に關する法律の一部を改正する法律」等の施行に伴い、条例の一部を改正しました。

邑楽町災害弔慰金の支給等に関する条例

群馬県市町村総合事務組合において共同処理を行っていた事務処理を各自自治体で行うため、条例の一部を改正しました。

邑楽町立幼稚園設置条例の改正

令和8年度から「こども誰でも通園制度」の実施に伴い、条例の一部を改正しました。





**邑楽町立学校給食センターの設置及び管理等に関する条例の改正**  
令和8年度から町立小中学校給食費の無償化の実施に伴い、条例の一部を改正しました。

**邑楽町小口資金融資促進条例の改正**  
「群馬県小口資金融資促進制度要綱」の改正に伴い、条例の一部を改正しました。

**邑楽町附属機関の設置等に関する条例の改正**  
令和8年度から町誌編さん事業の開始に伴い、条例の一部を改正しました。

**邑楽町議会委員会条例の改正**  
災害の発生や感染症のまん延等あるいは、公務や傷病等のやむを得ない事由により委員会の開催場所へ参加が困難な場合に、特例としてオンラインによる方法を活用した委員会が開催できるように、条例の一部を改正しました。

**邑楽町議会会議規則の改正**  
オンラインによる方法を活用した委員会の開催に伴い、オンラインによる方法を活用した全員協議会が開催できるように、規則の一部を改正しました。

**〔指定管理者の指定〕**  
**邑楽町福祉センター** 寿荘  
**邑楽町高齢者活力センター**  
**邑楽町地域活動支援センター**  
**指定管理者**  
 社会福祉法人 邑楽町社会福祉協議会

**指定の期間**  
 令和8年4月1日から  
 令和13年3月31日まで

■ 令和7年度補正予算額（3月）

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	134億9,555万円	11億3,768万円	146億3,323万円
国民健康保険特別会計	27億4,419万円	706万円	27億5,125万円
後期高齢者医療特別会計	4億8,707万円	3,040万円	5億1,747万円
介護保険特別会計	23億3,032万円	4,138万円	23億7,170万円
公共下水道事業会計	収益的収入	△154万円	3億6,839万円
	収益的支出	△120万円	3億2,802万円
	資本的収入	△6,531万円	1億3,577万円
	資本的支出	△4,497万円	2億2,063万円

※四捨五入の計算上、予算総額に誤差があります。



令和8年第1回邑楽町議会 定例会 提出議案と議員の賛否

議案等	議席番号														結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	議員名														
	山本裕子	三ツ村由紀	武井清二	新村貴紀	神山均	蟹和孝一	佐藤富代	小久保隆光	黒田重利	瀬山登喜	松島茂喜	塩井早苗	原義裕	松村潤	
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (令和7年度邑楽町一般会計補正予算 第4号)														承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて (令和7年度邑楽町一般会計補正予算 第5号)														承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (令和7年度邑楽町一般会計補正予算 第6号)														承認
議案第1号	邑楽町特別職の報酬、費用弁償条例の一部を改正する条例														可決
議案第2号	邑楽町職員等の旅費に関する条例														可決
議案第3号	邑楽町災害弔慰金の支給等に関する条例														可決
議案第4号	邑楽町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例														可決
議案第5号	邑楽町立学校給食センターの設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例														可決
議案第6号	邑楽町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例														可決
議案第7号	指定管理者の指定について (邑楽町福祉センター 寿荘)														可決
議案第8号	指定管理者の指定について (邑楽町高齢者活力センター)														可決
議案第9号	指定管理者の指定について (邑楽町地域活動支援センター)														可決
議案第10号	令和7年度邑楽町一般会計補正予算(第7号)														可決
議案第11号	令和7年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)														可決
議案第12号	令和7年度邑楽町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)														可決
議案第13号	令和7年度邑楽町介護保険特別会計補正予算(第3号)														可決
議案第14号	令和7年度邑楽町公共下水道事業会計補正予算(第3号)														可決
議案第15号	令和8年度邑楽町一般会計予算														可決
議案第16号	令和8年度邑楽町国民健康保険特別会計予算														可決
議案第17号	令和8年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算														可決
議案第18号	令和8年度邑楽町介護保険特別会計予算														可決
議案第19号	令和8年度邑楽町公共下水道事業会計予算														可決
発議第1号	邑楽町議会委員会条例の一部を改正する条例														可決
発議第2号	邑楽町議会会議規則の一部を改正する規則														可決
議案第20号	邑楽町附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例														可決

※ ○…賛成 ×…反対 欠…欠席  
議…議長(議事進行を行う議長は採決に加わりません。賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否を表明します)

# 一般質問



新村 貴紀  
議員



## 未成年者預かり施設 安全対策について

**問** 2024年町内の放課後デイサービスの海合宿事故について、2月5日付け毎日新聞の特集記事「問われる安全」から事故当時の状況が分かった。また、県の調査があり、その公開資料を基に未成年者を預かる施設に対する安全対策について伺う。今回の調査には、県と一緒に町も同行していると新聞記事に書かれている。児童福祉法では、病状が急変した場合に「速やかに医療機関に連絡し、必要な措置を講じる」として、必要措置を講じる時、救急車を呼ぼうという職員の声もあったが、軽度で意識もあり、念のためにかかりつけ医に連れていく程度だったとの施設

側の説明だったのか。

**答 副町長** 休憩を取るきっかけとなったのは、唇の色が紫色になって、顔色に気付いたためで、顔色は悪かったが会話と呼びかけに応じられ意識もあったという説明を受けた。

**問** しかし、結果的には死亡事故になってしまった。埼玉県福祉施設における事故防止対応の記事は重要だと思う。内容を担当課長にも確認していただきたいが、やはりこのような安全対応を取っていくことが適切だと考えるが、この点について伺う。

**答 福祉介護課長** 新聞記事の事業所は、経験や体験を通して子どもたちの可能性を広げようときまざまな活動を行っている。放課後等デイサービスのニーズが増える中、子どもたちが安全に過ごせる居場所が安全に過ごせる居場所がなくてはならない。また人材不足も懸念されているが、国のガイドラインを遵守し、安全管理をしっかりと行っていくよう助言していく。

**問** 町全体として「病状が急変した場合には速やかに医療機関に連絡し、必要な措置を講じる」ことについて、全ての預かり施設に通達済みか。

**答 副町長** 令和6年の国立の幼稚園、保育園、こども園では、園長会議において、緊急時の救急要請や、

誰でもいつでも対応できるようにマニュアルの整備について再確認している。また、小中学校においては、校長会等を通じて、その通達を受けている。町立の施設以外については、県の管轄下であり、それらについては県から通達を行っている」と聞いている。

**問** 今後も助言・指導を町として積極的に行っていく考えはあるか。

**答 町長** 児童発達支援ガイドラインの遵守、マニュアルの再確認

**答 町長** 児童発達支援ガイドライン、この安全管理対策を徹底し遵守していただくことが大切である。定期的に町としても民間も含めた各預かり施設に対し、ガイドラインの遵守、マニュアルの再確認、これらは定期的に呼びかけていきたいと考えている。



ためらわず救急車

その他の一般質問  
・光善寺地区蓄電所計画について



神山 均  
議員



## 教育・子育て支援 について

**問** 子育て世帯に手当や給付金が支給されているが、現金を支給するだけでは児童生徒が本当に必要な学習用品に使われないケースがある。経済的な理由により、学習に必要な文房具などの学習用品の備えが不足している児童生徒に対し、家庭の状況に左右されない教育機会の平等を保障するために学校を窓口とした直接的な学習用品を支援する事業の構築ができないか。

**答** **教育長** 学校や教育委員会に余った学習用品や文房具を寄付していただき、必要な家庭にそれを支給するといった方法も考えられる。

**問** 平成13年施行の「子どもの読書活動の推進に関する法律」には、子どもの読書活動について極めて重要な意義が示されている。では、小中学校における朝読書の実施状況は。

**答** **学校教育課長** 小中学校では、おおよそ週に1回から2回、1回当たり10分程度の朝読書を実施している。

**問** 小中学校における読書に関する取り組みは。

**答** **学校教育課長** 小学校では、読み聞かせの実施、図書室の利用促進のために新刊資料の校内告知、児童がお薦めの本を手紙にまとめ、クラスの仲間や先生に送り合う図書室郵便の

実施や町立図書館と連携し、調べ学習用の図書の借り受けなどを行っている。中学校でも先生や図書委員のお薦め図書の紹介や絵本のポップ作成や掲示など、読書意欲を高める活動を図書委員会が中心に行っている。

**問** 子どもたちには、本を

読んで言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けてほしいと願っている。興味、関心に応じた新しい本も含め、図書の蔵書を計画的に充実させるためにも、学校図書の予算増額ができないか。

現状予算の購入冊数で  
バランスが取れている

**答** **町長** 小中学校において、蔵書の更新は、予算の範囲内で適切に行われていると認識している。選書に関しては大変時間をかけて丁寧に行っている。また、図書室も配置できる本の総数というものが限られている。現状の予算内で購入している冊数のバランスが取れているものと認識をしている。学校図書室の在り方、児童生徒の幅広いニーズ等に応えながら、学校図書とも連携を図り、適切な図書室の運営に努めたい。

**問** 町民の読書環境向上、利用者

に寄り添ったサービスに努めるために、新刊本の価格上昇も考慮して、町として町立図書館の図書購入費の予算増額を検討すべきでは。

**答** **町長** 図書購入費は、年間5千冊ほどの購入

を見込み、900万円を計上している。また、常に最新の情報の資料に更新していく必要がある、図書購入費については、継続的に資料購入をしていくために安定的な予算の確保が求められている。

### その他の一般質問

- ・ヤード等規制の動向及び町条例制定について
- ・中高年の転倒予防対策への助成について
- ・地域農業や農業施策及び産業団地について



町内外から利用が多い町立図書館

# 一般質問



松村 潤  
議員



## カスタマーハラスメント 対策について

**問** 顧客が従業員に対して、不当な要求を突き付けるカスタマーハラスメントが社会問題になっていて、行政の窓口でも増えているが町の実態は。

**答** **総務課長** 確認ができていないカスタマーハラスメントの事例としては、来庁者による窓口での暴言や長時間のクレーム、嫌がらせの電話がある。

**問** メンタルヘルス不調で5人に1人が心の病気になるかかるといわれている。カスタマーハラスメント事案が発生した場合には、どのような対応を取るのか。

**答** **総務課長** 窓口における対応では庁舎警備員を同席させるなど複数人で

対応している。

**問** 職員の相談体制はどうなっているのか。

**答** **総務課長** カスタマーハラスメントに限らず、職員からのハラスメントに関する相談に対応するため、相談窓口を総務課人事職員係に設置している。

**問** カスタマーハラスメント対応に関する研修は行っているのか。

**答** **総務課長** 令和2年11月に「邑楽町職員のハラスメント防止指針」を策定し、指針に基づいて対応している。

**問** 防犯カメラの録画や会話のテープは、どのよう

うに管理しているのか。

**答** **総務課長** 有事の際には映像や音声など、事実確認が行えるように整備している。

**問** 学校におけるカスタマーハラスメントの現状は。

**答** **学校教育課長** 教育現場で想定されるカスタマーハラスメント行為には、身体的、精神的な攻撃、威圧的、差別的で執拗な言動や不当な謝罪要求などがある。専門家や外部機関と連携し、学校を支援する体制づくりが進んでいる。

**問** 全国的に保護者や地域等からの学校への過剰な苦情や不当な要望が相次いでいるということだが、

学校現場ではどのように対応するのか。

**答** **教育長** 社会通念を超える要望や要求等、対応に困った場合は、教育委員会が学校からの相談に乗る。学校が県のスクールロイヤーに助言を求めることもできる。学校として組織的に対応できる体制づくりを努めている。

**問** 町職員は町のため、町民のために働きたいと夢と希望を持って役場職員になった貴重な人材である。職員が安心して働ける環境づくりが大切である。今後、町職員へのカスタマーハラスメント対策にどのように取り組むのか。

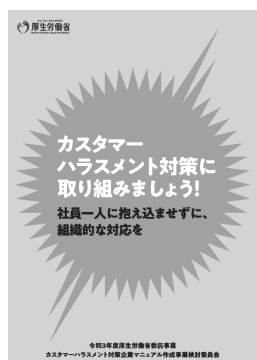
**答** **町長** 快速に働くことができる職場環境を確立することの重要性を認識している。「邑楽町職員のハラスメント防止条例」に

条例に基づき  
実施を図る

が

基づき、防犯カメラの設置、録音機能付き電話の活用、警備員の配置、相談体制の確立、それから必要な研修の実施等の対応を具体的に図っていく。

**その他の一般質問**  
・高齢者福祉の充実について



対策は組織的な対応が重要（厚生労働省ホームページより）



蟹和 孝一  
議員



## 少子高齢化による、町の人口減少について

報の共有化や広域での協体制の構築についても検討研究していく必要があると考える。地域関係の活力低下を最小限に抑えるように取り組みたい。

る薬はないが、給食費の無償化を始め、新しい総合計画に記載した事業についても今後も着実に職員一丸となって取り組んでいきたい。

**問** 人口減少がもたらす悪影響は計り知れない。この現実をどのように認識しているのか伺う。

**答** 副町長 令和8年度から始まる邑楽町第七次総合計画の中心的な課題は人口減少対策ということになる。そのような社会の中でどうやって町を元気にしていくかということを中心に見て絶望的な未来を捉えるのではなく、行政と町民が一体となつて、町の未来を真剣に考える重要な課題であり、そのための転換期であると考える。

**問** 必要があると考えますが、取り組みについて聞きたい。

**答** 企画課長 人口減少の速度を考えると、これまでの施策をさらにブラッシュアップさせることや、

**問** 本町に町民が必要としている支援をいま一度調査研究する必要があると認識している。今後の取り組みについては現在実施している各施策の検証を行いながら、より効果が高いと見込まれる分野を重点的に投資していく。具体的には、子育て世代が直面する経済的、精神的な負担を軽減するための支援や窓口での相談体制の強化など、多様なニーズへの柔軟な対応が今以上に重要になると考える。また、少子化対策に特効薬

**問** はないが、関係各課で連携協力しながら子どもを産み育てやすい環境づくりを今後も推進していきたいと考える。

**問** 町は、今まで多くの施策を実施しているが結果としては人口増には結びついていない。周辺地域も同じ問題を抱えているわけだから地域間の連携を密にして助け合っていく必要があるのではないか。

**答** 企画課長 地域間の連携を行う上で有力な選択肢の一つであると考えている。既に周辺自治体とは一部の事業で連携を図っているが、今後はさらに踏み込んだ情

**問** 少子高齢化の流れや人口増が望めない。そのスピードを少しでも抑える

**答** 町長 少子化対策については、現在の人口減少の局面を劇的に変化させ

**問** 待ったなしの少子高齢化対策について、町長に考えを伺う。

**答** 職員一丸となつて取り組んでいく

は、関係各課で連携協力しながら子どもを産み育てやすい環境づくりを今後も推進していきたいと考える。

**問** 町は、今まで多くの施策を実施しているが結果としては人口増には結びついていない。周辺地域も同じ問題を抱えているわけだから地域間の連携を密にして助け合っていく必要があるのではないか。

**答** 企画課長 地域間の連携を行う上で有力な選択肢の一つであると考えている。既に周辺自治体とは一部の事業で連携を図っているが、今後はさらに踏み込んだ情

は、関係各課で連携協力しながら子どもを産み育てやすい環境づくりを今後も推進していきたいと考える。

**問** 町は、今まで多くの施策を実施しているが結果としては人口増には結びついていない。周辺地域も同じ問題を抱えているわけだから地域間の連携を密にして助け合っていく必要があるのではないか。

**答** 企画課長 地域間の連携を行う上で有力な選択肢の一つであると考えている。既に周辺自治体とは一部の事業で連携を図っているが、今後はさらに踏み込んだ情

は、関係各課で連携協力しながら子どもを産み育てやすい環境づくりを今後も推進していきたいと考える。

**問** 町は、今まで多くの施策を実施しているが結果としては人口増には結びついていない。周辺地域も同じ問題を抱えているわけだから地域間の連携を密にして助け合っていく必要があるのではないか。

**答** 企画課長 地域間の連携を行う上で有力な選択肢の一つであると考えている。既に周辺自治体とは一部の事業で連携を図っているが、今後はさらに踏み込んだ情

は、関係各課で連携協力しながら子どもを産み育てやすい環境づくりを今後も推進していきたいと考える。

**問** 町は、今まで多くの施策を実施しているが結果としては人口増には結びついていない。周辺地域も同じ問題を抱えているわけだから地域間の連携を密にして助け合っていく必要があるのではないか。

**答** 企画課長 地域間の連携を行う上で有力な選択肢の一つであると考えている。既に周辺自治体とは一部の事業で連携を図っているが、今後はさらに踏み込んだ情



# 一般質問



三ツ村 由紀  
議員



## 小中学校における ICT教育の現状と課題

**問** 児童生徒および教職員のICT機器のセキュリティ対策は。

**答** 学校教育課長 児童生徒には、町から貸与している一人一台端末について、国の教育情報セキュリティポリシーに関するガイドラインに基づき、全ての端末にウェブフィルタリングを導入し、不適切なウェブページの閲覧防止やウイルスをはじめとしたマルウェア対策を行っている。万が一、端末が盗難や紛失により第三者に渡った場合にも、不正にアクセスされないよう、教育委員会からの遠隔操作によるセキュリティ設定の一元管理、端末のロックやデータ消去などの管理体制を確保してい

る。教職員には、個人情報等の外部への持ち出しの禁止や、クラウドサービスの適切な利用、ID・パスワードの適切な管理などについて、服務規律の観点からも指導を徹底している。

支援は。

**答** 学校教育課長 経済的な理由で無線インターネット環境が構築できない家庭等へは町で契約したモバイルルーターの貸し出しを行っている。

**問** 端末が故障した場合の対応は。

**答** 学校教育課長 故障があれば、すぐに代替端末が使えるように各学校に予備機を配備している。必要に応じ町の予算で修繕をするが、故意や重大な過失による故障については、保護者に費用負担を求めている。

**問** 端末の更新があつたが、処分する旧端末の台数は。

**答** 学校教育課長 188台である。

**問** 旧端末の処分、活用予定は。

**答** 学校教育課長 町の事業でのリユース希望を募っている。リユース先としては現在のところ、個人端末が配備されていない職員への配備や、幼稚園で園

児の自由な学びに役立てたり、町立図書館の利用者向け、介護予防事業での高齢者向けの端末利用を予定している。リユースする端末以外は、売却する予定となっている。

**問** 今後、本町のICT教育の質を高めていくために、教育長として重点的に取り組もうとしていることは。

**答** 教育長 教師のICT活用指導力のさらなる向上と、児童生徒への情報モラル教育の充実である。

**問** 町におけるICT教育の現状や課題を踏まえた町長の見解は。

ICT教育の充実に  
努めていきたい

**答** 町長 ICTは、これからの社会を生きる子どもたちにとって不可欠な学習基盤であり、単に機器を整備するだけでなく、児

童生徒一人一人の学びの質の向上につなげていくことが重要であると考えている。引き続き、本町の将来を担う子どもたちの可能性を広げるため、ICT教育の充実に努めていきたい。



ICT教育で問われる学びの質



山本 裕子  
議員



## 手話言語条例制定後の 現状について

**問** 1月に開かれた議会報告会・意見交換会の参加者から9月23日のブルーライトアップへの要望があった。手話言語条例制定から1年半が経過したが、聴覚障害がある人の暮らしに変化はあったのか。

**答** **町長** 窓口への手話通訳者の設置や講座の開催などに取り組んできたが、大きな変化があったとは言えない状況である。

**問** 9月23日の「手話言語の国際デー」に行われるシンボルタワーのブルーライトアップの実施状況は。

**答** **福祉介護課長** 展望室をライトアップし、広報紙やホームページ、町公式LINEなどで周知して

いる。また、役場ロビーでは青色ランタンや手話に関する資料展示を行っている。

**問** シンボルタワー全体を青く照らしてほしいという要望はどう受け止めているか。

**答** **福祉介護課長** 同様の要望は聞いており、所管課にも相談している。

**問** 全体のライトアップに向けた課題は。

**答** **商工振興課長** 現在、タワー全体の改修工事を検討している段階であり、ブルーライトアップに関する改修工事の計画はない。

**問** 今後の改善や拡充の可能性は。

**答** **商工振興課長** 次年度にタワーの在り方を検討する委員会を設置予定であり、その中でさまざまな意見を検討していく。

**問** 条例制定後、町民が手話に触れる機会は。

**答** **福祉介護課長** 子ども手話教室を3回開催したほか、イベントでの手話体験ブース設置、園や学校への手話通訳者講師派遣などを実施している。

**問** 講座や体験の参加状況は。

**答** **福祉介護課長** 子ども手話教室は定員12名に対し15名が参加し、イベントでは数十名が体験した。

**問** 継続して学ぶ人は把握しているか。

**答** **福祉介護課長** 把握はしていないが、3町で開催している手話奉仕員養成講座に7名が参加し、手話サークルにも新規加入者があった。

**問** 役場で手話対応ができる職員はいるか。

**答** **福祉介護課長** 住民保険課に1名おり、福祉介護課では毎月第3水曜日の午後に手話通訳者を配置している。

**問** 学校での手話教育の現状は。

**答** **教育長** 教科としての位置付けはしておらず、総合的な学習の体験として行われている。

**問** 言語として体系的に指導する考えは。

**答** **教育長** 学習指導要領に位置付けられていないため教科としての指導は

ないが、教師の研修などを通じ理解を深めていく。

**問** 今後の町としての取り組みは。

**答** **町長** 養成講座や通訳者配置などの事業を継続し、聴覚障害のある人の声を聴きながら手話の普及と共生社会の実現に努めていく。



手話のあいさつ

# 一般質問



原 義裕  
議員



## 企業誘致による産業団地 造成の計画について

**問** 十数年にわたり企業誘致・産業団地が計画されず、人口も減り、農業を糧にする家庭が少なくなっている。

**答 町長** 農業等の就業人口の割合は、4・1％程度で低下している。第2次産業が37％で、第3次産業が55・8％である。すでに、商工業の町としての側面が強い。

**問** 館林市でも、産業団地を造成すると新聞が発表し、2028年度に分譲開始を目指す。農地の買収、民家の転居補償、現地調査、区画割りを考える設計費用等を充てるようだ。

**答 町長** 邑楽館林地区全体の産業需要が高いと

受け止めている。企業誘致の可能性を探る貴重な判断材料の一つと考える。邑楽町でも産業用地の分譲ができるよう考える。

**問** 災害の少ない立地の優れた町である。東京からも近く、平坦な土地と安価な地域で企業が進出しやすいところである。

**答 町長** 災害リスクが低く、都心にもアクセスが良く、企業立地や人の移住・定住にメリットがある。企業には、事業継続性が高く、移住定住希望者には、安心して暮らせる土地であることがアピールできる。

**問** 工業団地造成や企業誘致はどうなっているか。

第六次後期基本計画の最重点政策に農業や商工業を振興すると共に、新規の産業団地造成を図るとある。地域経済安定および雇用を確保するため、経営強化や優良企業の誘致をする。第七次の計画ではどうか聞きたい。

**答 都市計画課長** 第七次総合計画は、重要な施策の一つとして位置付けている。利根川新橋建設といった新たな産業拠点を創出する契機と捉え、農地の保全と調和を図り、連携しながら進めていく。

**問** 農業は、経営環境が悪化する傾向がある。また、新規農業従事者が伸び悩み、農業人口が減少している。

なになんでも、企業誘致による産業団地造成が必要だ。

**答 町長** 今後も、ホームページやSNS等を使用して戦略的な外部発信を継続していく。

**問** 産業団地造成の動きがあれば、進捗状況が聞きたい。

**答 都市計画課長** 民間開発事業者と連携し、事業化に向けて進めている。企業立地奨励金制度の見直しも進んでいる。令和12年の線引き、都市計画の区域分の変更に向けて、令和8年度に候補地調査票を県に提出する。

**問** 企業誘致や産業団地は、まだ具体的に進んでいないのか。周りの市町村でも、人口減少や商店および企業の減少で、消滅になり得る事態になっている。



現在の鞍掛工業団地

### 新たな財源確保

**答 町長** 新たな財源確保というところで、確実に取り組んでいく必要がある。



佐藤 富代  
議員



## 障がい者福祉施策 就労支援の現状と課題

**問** 障害者総合支援法は障がいのある人々の日常生活と社会生活を支える施策を強化し、障がいのある人々の社会参加を促すもの。

しかし、邑楽町障がい者福祉計画（令和3年度～8年度）策定当初は、福祉サービスの利用者が少なく、困り事の相談は家族や親戚が多い状況であった。就労系福祉サービスは拡充しているか。

**答** 福祉介護課長 就労系福祉サービスには就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労移行支援がある。A型は、一般企業で働くことが難しい人がサポートを受けながら雇用契約を結んで働く福祉サービスであり、町内に事業所はない。

B型は、雇用契約を結ばずに自分のペースで軽作業をする福祉サービスであり、町内に事業所は5カ所ある。就労移行支援は、一般企業への就職を目指し訓練を積むための福祉サービスであり、町内に1カ所ある。令和6年度延べ利用者は、A型190人、B型707人、就労移行支援56人である。どのサービスも令和元年度と比較して増加している。

**問** 就労系福祉サービス事業所に対する町からの援助はあるか。

**答** 福祉介護課長 障害者優先調達推進法に基づき、令和7年度から就労機会と賃金確保を目的として業務を委託した。リサイクル

ルステーションや公園の清掃管理、児童館の除草作業など13業務である。また、町職員向けに物品販売の受け入れを行っている。

**問** 就労系福祉サービス事業所にはどのような基準があるか。

**答** 福祉介護課長 提供する訓練や支援内容を示した標準支援プログラムがある。相談支援専門員が利用者の個別計画を立てる。特定の国家資格は必須ではないが、実務経験や専門知識が求められる。

**問** 相談支援事業の利用は増えているか。

**答** 福祉介護課長 相談件数は年々増加し令和7

年12月現在で281件である。相談内容は福祉サービスの利用に関するものが最も多い。相談から契約までの手続きが複雑で難しいことや、相談支援専門員や事業所の不足により希望する事業所に入所できないこと、手続きの長期化などの課題がある。

**問** 事業所と町の連携は。

**答** 福祉介護課長 町内事業所と情報交換の機会はあるが、ネットワーキングには至っていない。館林市と邑楽郡5町は、館林市外五町地域自立支援協議会を設置し、定期的に地域課題を協議している。地域生活拠点事業として緊急時の受け入れ対応を開始した。

**問** 次期障がい者福祉計画策定に向けて。

個人のライフスタイルに合わせたサポートの拡充

**答** 町長 障がいのある人の個別の障がい特性を深く理解し、個人の希望や考え方、ライフスタイルに合わせたきめ細かいサポートの拡充を図りたい。



業務委託されたリサイクルステーション

# 一般質問



武井 清二  
議員



## 未来型行政への 業務再設計について

**問** 人口減少や少子化、物  
価高という厳しい情勢  
の中、行政課題は多様化・  
複雑化し、職員の負担は増  
大し続けている。業務を劇  
的に効率化し、行政サービ  
スの質を引き上げる手段と  
して生成AIの導入が不可  
欠だ。私は3年前から活用  
を提案し続けてきたが、今  
回、令和8年度の町長の施  
政方針にAI導入と業務最  
適化が初めて示されたこと  
を高く評価する。AIは定  
型業務を圧縮し委託経費を  
削減する優秀なアシスタ  
ントになるが、現在の試験導  
入の状況と効果を伺いたい。

**答** 企画課長 昨年8月よ  
り試験導入し、現在は  
企画課が用意したシステム  
に個人がアクセスし利用し

ている。文章の作成や校正、  
要約、イベント企画等に活  
用されており、アンケート  
結果では約2、3割の業務  
時間が削減されたと職員は  
実感している。

**問** 個人の利用から一歩進  
め、AIの効果を最大  
限に発揮するには全庁的な  
業務の棚卸しと可視化が不  
可欠だ。縦割りの業務を横  
断的に見直して無駄を省き、  
全庁レベルで業務再設計を  
行っていく考えはあるか。

**答** 町長 限られた資源で  
真に必要な行政サービ  
スを維持向上させるため、  
業務見直しは重要だ。これ  
までの常識を疑い、横断的  
な連携体制を強化して組織  
全体の最適化と業務再設計

を検討していく。

**問** 業務効率化によって生  
み出された時間やお金  
などの新たな資源は、最終  
的には、本来人間が担うべ  
き福祉や対面でのコミュニ  
ケーションなど「人対人」  
の重点分野へ再投資すべき  
である。本格導入に向けた  
推進体制と、将来の組織体  
制の在り方はどう考えてい  
るか。

**答** 町長 AIには代替で  
きない付加価値の高い  
専門的な業務や対人サービ  
スへ資源を再配置する。推  
進体制は企画課をハブとし  
全庁横断的に推進していく。  
将来的には従来の事務分担  
にとられない、柔軟で機  
動的、スマートな組織への

移行を目指す。

**問** 行政にとって最も大事  
に寄り添える社会を実現す  
ることを目的としてAIを  
使ってほしい。他自治体の  
事例を待つのではなく、本  
腰を入れた専門チームを作  
り、邑楽町が全国に先駆け  
るスピード感で改革を進め  
ていただきたい。

遅れることなく

取り組む

**答** 町長 議員ご指摘のと  
おり、生成AIはこれ  
までのDXの流れを劇的に  
変化させる大きな波だと認  
識している。他市町の事例  
を参考にしつつも単に待つ  
のではなく、専門的な委員  
会等を立ち上げて横断的に  
調査研究し、時間に遅れる  
ことなく本格的な活用と実  
践に取り組んでいく。



人が人に寄り添える行政

※生成AI：文字などの入力  
に対してテキスト、画像、ま  
たは他のメディアを応答とし  
て生成する人工知能システム  
の一種  
※AI (Artificial Intelligence)  
：人工知能を持つコンピュー  
タシステムやソフトウェア

# 町議会ってなあに？



## 教えてオーランドさん Vol.4

ー町議会についての素朴な疑問にオーランドさんが答えますー

今回は、「一般質問」についてオーランドさんに聞いてみました。

**Q 「一般質問」とは、どんなことをするのですか・・・？**

定例会の本会議では、町長から議案の提案等が行われるほか、議員による一般質問が行われます。一般質問とは、議員が町長に対し、町政全般について質問することです。

邑楽町議会会議規則第60条第1項において「議員は、町の一般事務について、議長の許可を得て、質問することができる。」と規定があるように、議員は町が行う取り組み内容や問題点など町民の生活に関わる幅広い内容を、町民の代表者として問い質すことができます。これに対し、町は今後の事業の進め方や問題解決のための考え方を答えます。

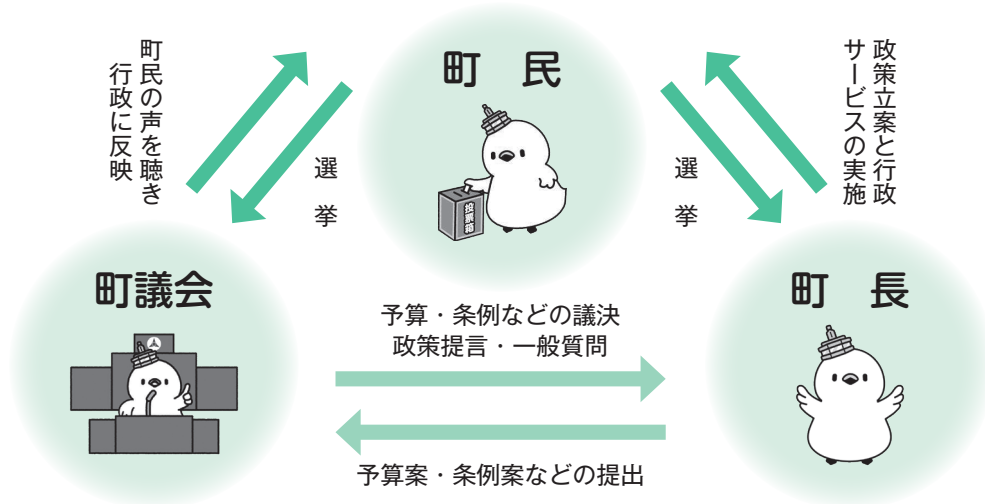
このやりとりは、町民の代表である議員が町の考え方をチェックし、町民の思いをサービスに反映させるという大きな役割を果たしています。

どの議員がいつ、どのようなことを質問するのかは、邑楽町議会ホームページや町公式LINE等でお知らせしています。

みなさんの身近な生活に関することや、興味関心があることについての一般質問もあると思いますので、ぜひチェックしてみてください。



今までの一般質問は、  
YouTubeの「邑楽町議会  
チャンネル」で視聴できるよ！





## 休憩室 The Lounge

### 生きがい



大野 七海  
(谷中蛭沼・11区)

「世界一すごいピッチャーになる」これは小学3年生の私が野球を始めた時に書いた目標です。大きすぎる夢を、家族はいつも本気で応援してくれました。「女なのにな？」と言われても心が揺れることはなく「ただうまくなりたいたい」その一心で白球を追い続けました。15歳で親元を離れ京都府の高校へ進学し、高校3年時にはU-18に選出され、アジア杯優勝を経験しました。大阪府の大学生の時には日本代表に選出され、世界の舞台に立つ夢もかないました。

決して順風満帆ではなく、2度の大きなけが、イップスによる投手から野手への転向という苦難もありましたが、たくさんの人たちの支えがあって、今も野球を続けることができています。支えてくれた全ての人、そして1番の応援団でいてくれる家族に恩返ししたいです。再び日本代表で活躍するために挑戦し続けます！

### 議会のうごき

#### 2月

- 3日 群馬東部水道企業団議会  
全員協議会  
議会運営委員会
- 5日 館林地区消防組合議会
- 6日 篠塚町営住宅完成内覧会
- 10日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 13日 群馬県町村議会議長会定期総会
- 17日 企業情報交換会
- 18日 議会運営委員会
- 19日 総務教育常任委員会  
産業福祉常任委員会
- 20日 全員協議会
- 27日 まちづくり夢フォーラム

#### 3月

- 3日～12日  
第1回定例会  
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会、  
全員協議会、議会広報委員会)
- 13日 中学校卒業式
- 14日 邑楽消防団第3分団第4班・第5班  
統合詰所開所式
- 21日 こども園・保育園卒園式
- 23日 幼稚園修了式  
太田市外三町広域清掃組合議会
- 24日 小学校卒業式  
大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 26日 邑楽館林医療企業団議会
- 27日 館林地区消防組合議会
- 30日 議会広報委員会編集会議  
邑楽郡町村議会議長会定期総会

#### 4月

- 7日 小・中学校入学式
- 8日 議会広報委員会校正会議
- 20日 全員協議会  
議会運営委員会

## 議会を傍聴しましょう

次回の定例会は**6月8日**から**12日**を予定しています

(開会は原則、午前10時 一般質問は9日、10日を予定)

住所・名前・年齢を受付票に書くだけでどなたでも傍聴できます。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したもの)は、図書館、中央公民館、長柄公民館、高島公民館に置いてあります。また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見ることができますので、ご覧ください。

邑楽町議会

検索



詳しくは、議会事務局まで ☎47-5000

# 長崎県佐世保市

私

のふるさととは、長崎県佐世保市です。旧

海軍の港町として栄えた歴史があり、米軍基地もあることから異国情緒があること、さまざまな文化が混じり合っているのが特徴です。JR日本最西端の佐世保駅を降りると、潮の香りが漂います。名物の「佐世保バーガー」や本場の「ちやんぼん」などおいしいものも多く、帰省の際は欠かせません。また、街は坂が非常に多

く、家々が山の上まで立ち並ぶ独特の景観も自慢の一つです。お盆には、精霊船を引きながら鐘がけたたましく鳴り響き、爆竹が激しく打ち鳴らされるにぎやかな風習があり、それが私にとっての夏の音でした。学校を卒業後に就職で群馬県へ参りましたが、早いもので人生の半分をこちらで過ごしています。結婚を機に邑楽町へ移り住み、今では四季を肌で感じられる美しい田園風景が大好きに



井上 拓馬  
(坪谷・22区)

なりました。少しですが、仕事が休みの日には農家を営む義父を手伝っています。田植えが終わった時期、夜のカエルの鳴き声を聞きながら眠りにつく瞬間は「今年も夏が来たな」と心から実感します。そんな自然に囲まれた邑楽町が、今では私の大切な「第二のふるさと」です。



佐世保港

## 編集後記

議会だより第187号をお届けします。また、いつも、ご覧いただきありがとうございます。令和8年も開けて新年度がスタートいたしました。第七次総合計画を基本に、おのの事業が始まります。

町議会においてはこの3月3日から12日までの10日間で本年最初の定例会が開催されました。一般会計予算をはじめ、多くの議案等が可決承認されました。

激変する社会情勢の中で、進むべき方向を見据えて町民の皆さまが安全安心に暮らせるようこれからも取り組んでまいります。今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(蟹和記)

